

総説, ミミカキグサとホザキノミミカキグサ

| | |
|-----|---|
| 著者 | 小宮 定志, 柴田 千晶 |
| 雑誌名 | 日本歯科大学紀要. 一般教育系 |
| 巻 | 29 |
| ページ | 133-160 |
| 発行年 | 2000-03-20 |
| URL | http://doi.org/10.14983/00000523 |



総説，ミミカキグサとホザキノミミカキグサ

Two terrestrial Bladderworts, *Utricularia bifida* L. and *U. caerulea* L.
(Lentibulariaceae)

歯学部 小 宮 定 志
柴 田 千 晶

Sadashi KOMIYA and Chiaki SHIBATA
Department of Biology, The Nippon Dental University,
Fujimi, Chiyoda-ku, Tokyo 102-8159, JAPAN

(1999 年 10 月 19 日 受理)

1. まえがき

日本に分布する食虫植物 2 科のうち、タヌキモ科植物は 2 属 14 種 1 交配種を数える (Komiya & Shibata 1980, 小宮, 他 1997)。タヌキモ科の 1 属ムシトリスミレ属 *Pinguicula* については、既に、小宮・柴田「日本産ムシトリスミレ属」(日歯大紀要 28 号, 1999) に総説を示した。もう一方のタヌキモ属 *Utricularia* 12 種のうち 6 種は、小宮「総説ヒメミミカキグサ」(日歯大紀要 23 号, 1994) と小宮「絶滅が危惧される日本産食虫植物」(日歯大紀要 24 号, 1995) にまとめて報告済みである。今回は、陸生のミミカキグサ類 4 種のうち未報告のミミカキグサ *U. bifida* とホザキノミミカキグサ *U. caerulea* の 2 種についてまとめてみた。環境庁自然保護局野生生物課「植物版レッドリスト」(1997) では、ヒメミミカキグサ *U. minutissima* は絶滅危惧 I B 類 (EN)、ムラサキミミカキグサ *U. uliginosa* は絶滅危惧 II 類 (VU) に評価されているが、ミミカキグサとホザキノミミカキグサはレッドリストには載っていない。

なお、日本における両種の分布図作成については、すべて筆者らが実見した主要腊葉標

本庫に収蔵されている標本に基づいて示し、文献からの引用はしていない。

2. ミミカキグサの発見史と世界分布

Utricularia bifida なる学名は、Linnaeus「Species Plantarum」18頁(1753)において命名された。Osbeck「Voyage to China and East India」1:t. 3 (1771)の第3図版、図2aと2bの描画に基づいて、花茎が無毛で2分岐(bifid)する(普通は分岐しないが、偶々秋型のものが2分岐する)ことが特徴として命名された。その後、中国・インドのみならず、ネパール・スリランカに至る南アジア、インドシナ半島・マレー半島・ニューギニアに及ぶ東南アジア一帯、朝鮮・日本にまで及ぶアジア全域、そして、パラオ・グアムの太平洋の島々からオーストラリアに至るまでの広範囲に分布することが分かった。

Utricularia bifida L., Sp. Pl. 18 (1753); Matsumura, Nom. Jap. Pl. 196 (1884)

Syn. *U. antirrhinoides* Wall., Cat. no. 1498B (1829)

U. biflora Wall., Cat. no. 1498 (1829), non Lam.

U. biflora Hayata in Matsum. & Hayata, Enum. Pl. Ins. Formosa 286 (1906)

U. brevicaulis Benj., Linnaea 20: 303 (1847)

U. diantha DC., Prodr. 8: 21 (1844)

U. diantha Roem. et Schult. sensu Miquel, in Ann. mus. bot. Lugd. Bat. 3: 204 (1867), conf. *U. exoleta*

U. hirta Klein ex Link, Jahrb. 1: 55 (1820)

U. humilis Vahl, Enum. 1: 203 (1804)

U. ramosa Vahl, Enum. 1: 204 (1804)

U. recurva Lour., Fl. Cochinch. 26 (1790)

U. sumatrana Miq., Fl. Ind. Bat. 2: 998 (1859), partim

U. Wallichiana Benj., Bot. Zeit. 1845: 213 (1845), non Wight

3. 日本におけるミミカキグサの発見史

文献で見られるミミカキグサの最古の記録は、1854年刊の藤沢周「奇草小図」に富山県産のものが描かれ、“黄花水釣舟”なる漢名がつけられていた。1884年刊の松村任三「日本植物名彙」196頁に“*Utricularia bifida* L. ミミカキグサ”が掲載されている。従って、和

名は松村によって命名されたものと判断できる。以来、この学名と和名は変更されずに通用している。

現存するミミカキグサの最古の標本は、1879年8月13日松村によって千葉県上総一宮町で採集されたもので、東京大学理学部（T I）に収蔵されている。松村は、1880年8月にも同所でミミカキグサを採集している。

1880年10月には、松村任三が大分県宇佐市安心院町でミミカキグサを採集し、また、矢田部と松村は1882年8月13日に佐賀県嬉野で、1884年7月11日には戸隠山でもミミカキグサを採集した。さらに、1887年9月7日牧野富太郎が高知県佐川町で、1887年9月18日松田定久と根本莞爾が福島県信夫山でもミミカキグサを採集した。

こうして、北海道を除く各地から次々と採集されてミミカキグサが日本の暖地に広く分布することが分かった。ミミカキグサの北限は青森県西津軽郡木造町の平滝沼である。南は、沖縄の西表島に至るまで広範に分布する。

次に、地域ごとに古い採集記録をたどり、また、現状について考察してみよう。

〔東北〕木梨延太郎が青森市周辺で、1904年9月、1906年10月、そして、1910年9月にミミカキグサを採集しているが、その産地についての詳細は示されていない。ミミカキグサの北限を津軽半島の平滝沼と明示したのは井上守で、1970年10月14日に採集した標本が国立科学博物館（TNS）に収蔵されている。当地では今でも現存する。

北海道にもミミカキグサが自生していたという報告がある。星野好博「美唄泥炭地における植物目録」（札幌農林学会報 151号 247頁、1939）にミミカキグサがリストアップされている。また、林清一・小松一郎「美唄市における野外植物の研究」（美唄市教育研究所紀要 6号 185頁、1956）で“消えた植物9種”のうちにナガバノモウセンゴケ、ミミカキグサ、ムラサキミミカキグサを挙げている（外山 1985）。しかし、いずれも証拠標本は見当らず、勿論、現存もしない。ヒメタヌキモの黄色花をミミカキグサの花と間違えた可能性を否定できない。

岩手県では、1903年7月30日中原源治が岩手山で初めて採集している。秋田県では、1894年9月7日 Faurie が秋田市周辺で初めて採集している。山形県では、1911年8月15日遠藤隆吉が蒲生浜で採集したものが最も古い。宮城県では、市村塘が1897年9月20日に仙台市周辺で、同年10月に蔵王山でも採集した古い標本が残されているが、今でもまだ可成り多くの自生地を見ることができる。

福島県では、根本莞爾と松田定久が1887年9月18日福島市信夫山で初めて採集しているが、現在では、会津地方と表郷村など県南部に自生地を見ることができる。

〔関東〕茨城県では、1902年9月7日鈴木靖の鹿島郡神栖町での採品が最も古い、今でも岩間町や筑波山など2、3ヶ所に自生する。栃木県では、岡崎信四郎が1905年8月23日真岡市で初めて採集しているが、磯川湿地などと共に既に絶滅した。群馬県では余り古い記録はなく、1964年に吾妻郡高山村（増田）と勢多郡大胡町（戸部）で採集されたが、ほぼ絶滅した。千葉県で最古の記録は、松村任三による1879年8月13日上総一宮町での採品で、これは全国でも最古の採集標本である。次いで、1880年8月松村、1901年8月10日牧野と城数馬も同町で採集している。そして、1902年7月28日若名東一が成東町本須賀で、1932年8月20日には成東湿原でも採集している。県内には、まだ数ヶ所で自生を見ることができる。1911年9月24日大沼宏平は東京都渋谷区代々木で、また、1913年9月には高柳悦三郎が埼玉県浦和市でもミミカキグサを採集したが、既に絶滅した。標本は残されていないが、寄居町三ヶ山にミミカキグサが残存し、隣接する鉢形地内の“ミミカキグサ・モウセンゴケ自生地”が1951年3月に県指定天然記念物となり、現在、自生地の復元が計られている（寄居町教育委員会1997）。「埼玉県植物誌」（1998）ではミミカキグサを絶滅種としている。

〔中部〕新潟県での最古の標本は、1911年9月14日中村正雄が長岡市悠久山で採集したものである。県内には今でも可成り多くの自生地を見ることができる。

北陸地方では、市村塘による1910年10月2日金沢市向山での採品が最も古い。石川県ではごく稀となったが、富山県や福井県では、まだ可成りの自生地を見ることができる。

長野県での最古の標本は、矢田部・松村らによる1884年7月11日～12日戸隠山での採品であるが、同山の濁沢で桜井半三郎が1892年8月3日に採集した標本も残されている。さらに、1903年8月19日矢部吉禎による木曽駒ヶ岳、牧野による1906年8月5日大町市平と1910年7月28日北佐久郡御牧原での採品や1910年7月30日水野忠男の戸隠村豊岡での採品などが見られる。

岐阜県では、松井守正の1911年10月20日中津川市坂本での採品が最も古い、今でも広い範囲に多くの自生地が見られる。

静岡県での最古の標本は、1889年9月久松問孝による磐田郡豊岡村での採品で、1904年8月牧野による御殿場市での採品がつづくが、いずれも絶滅した。現在では、県西部と伊豆半島に僅か残存するのみである（田中1999）。

愛知県では、松村の1881年7月29日豊橋市王ヶ崎町での採品が最も古く、次いで、伊藤篤太郎の名古屋竜泉寺（1890年8月24日）と江南市（1891年10月21日）での採集標本がつづく。さらに、1896年9月20日名倉間一郎による幸田町須美と西尾市貝吹での採品、1910年10月7日松田定久による瀬戸市での採品などがあり、今なお多くの自生地が現

存する。殊に、豊橋市葦毛湿原と武豊町壱町田湿地では、4種のミミカキグサ類を同時に見ることができる。

[近畿] 三重県では、1893年10月18日伊藤篤太郎の南勢町五ヶ所での採品が最も古く、次いで、伊藤の1907年7月8日一志郡権現野での採品が見られるが、今では殆ど絶滅して、県中・北部に僅かの自生地が見られるのみである。滋賀県では、1927年9月24日橋本忠太郎のマキノ町三国山での採品が最も古い。和歌山県では、1916年9月中島溝三による和歌山市岡崎での採品が最古である。京都府では、1905年9月牧野による上賀茂での採品が最古で、1908年7月18日園一郎が深泥池で採集したものがつづく。大阪府では、堀勝の1931年8月29日豊能町での採品が最も古い。以上いずれの府県でもまだ幾つかの自生地が現存する。

兵庫県では、1918年8月松島克生が小野市で採集したのに始まり、1928年8月7日栗山昇平による六甲山での採品へとつづく。県内には、まだ多数の自生地が見られる。

[中国] 岡山県では、S. Arimoto の那岐山麓(1903年)での採品、島根県では、古和文男による金城町大佐山(1917年)での採品、そして、広島県では、1903年8月12日佐々木鉄夫による世羅郡甲山町や1903年11月市村塘による芦品郡御領町での採品などが見られ、まだ多くの自生地が確認されている。

山口県では、1898年8月24日二階重楼が小郡町氷上で採集した標本が最も古く、1906年8月15日岡林幸吉による岩国市藤生町での採品がつづく。県内には、ごく僅か自生地が残存する。

[四国] 香川県塩江町での藤沢亀三郎(1909年)の採品があり、高知県では、牧野による佐川町(1887年)、土佐町(1889年)や高知市(1891年)での採品などが古い。

愛媛県でも、牧野による松山市則之川(1891年)での採品や長沢利英による松山市桑原町(1897年)での採品など古い標本が見られるが、殆どの自生地は消滅してしまった。徳島県での採品を見いだすことができなかったが、県北部にいくつかの自生地があると言う。

[九州・沖縄] 大分県安心院町で、1880年10月松村任三が採集したものが最も古く、1882年8月13日矢田部・松村らによって佐賀県嬉野で採集されたものがそれに次ぐ。両県ともに僅かの自生地が残存する。福岡県では、1891年10月9日長野菊次郎が粕屋町長者原で採集した標本が最も古く、1895年10月3日中野徳一が豊津町で採集したものがそれに次ぐが、殆どの自生地は消滅した。

熊本県では、1895年9月17日上妻博之が熊本市託麻で採集したものが最も古く、牧野が球磨村(1905年)、上妻が阿蘇町(1905年)で採集したものとつづくが、多くの自生地は消滅した。

宮崎県では、1887年8月6日田代善太郎が霧島山で採集した標本が最も古く、1891年8月10日斎田功太郎の児湯郡都農町での採品がそれに次ぐ。今でも川南町や高鍋町などに多くの自生地が見られる。

鹿児島県では、1890年11月8日牧野による加世田市での採品が最も古く、その後、種子島・屋久島・奄美大島などの島々などでも採集されており、殆どが現存する。

沖縄県では、伊藤篤太郎が1894年8月24日名護岳で、同年8月13日西表島祖納村で採集した標本が古く、1909年7月10日牧野が名護市で採集したものがそれに次ぐ。石垣島や西表島などの島々にも自生が知られ、今なお現存する。

4. 日本産ミミカキグサの分布(図1)と標本目録

東北、青森県西津軽郡木造町平滝沼(井上, 1970.10.14 TNS-280821; 小宮, 1991.7.17 NDC-4305, 1994.8.30 NDC-4931~4934; 外山・勝俣, 1998.9.9 NDC-9052); 青森市(木梨 1904.9.KYO, 1906.10.KYO, 1910.9.SAP)

岩手県岩手山(s. col., 1903.7.30 TNS-32059; 中原, 1903.7.30 MAK); 稗貫郡石鳥谷町(鳥羽, 1904.8.11 MAK); 盛岡市飯岡(東海林, s. d. OSA)

秋田県秋田市(Faurie, 1894.9.7 KYO(-13829)); 仁井田御所野(千葉, 1902.8.3 SAP); 手形山(村松, 1930.9.20 TI); 金足小沼沼(村松, 1931.9.27 TI); 八幡平(牧野, 1927. MAK); 男鹿脇本(望月, 1964.9.1 KAN-44807); 田沢湖無射田(伊藤, s. d. TKB-76835); 大曲市中沢湿原(小宮, 1997.10.21 NDC-8842); 仙北郡神岡町小方角沢湿原(小宮, 1997.10.21 NDC-8843)

山形県北村山郡大石田町(遠藤, 1914.8.5 TUS-5924); 蒲生浜(遠藤, 1911.8.15 TUS-5926); 村山市楯岡町湯沢沼(井上, 1913.7. MAK); 南陽市赤湯白竜湖(結城, 1935.8. 15 TNS-137502); 東置賜郡川西町(M. Kato, 1941.9.8 KAN-25543)

宮城県宮城郡(市村, 1897.9.20 KAN-3534 a); 仙台市(市村, 1897.10.10. KAN-3533 b, 3535, 3536 b); 仙台市荒巻(K. Endo, 1897.10.17 TI); 仙台市台ノ原(小倉, 1914. 7.27 TI); 青葉区北山(T. Saito, s. d. SAPT (B. G.) -20084); 蔵王山下方島(市村, 1897.10. KAN-3533 a, 3536 a); 古川市迫町北方兵糧山(上野, 1964.10.13 Ueno-697; 1966.10.3 Ueno-1377, 1378, NDC-2069); 小野嵐山(上野, 1996.8.31 Ueno-1325); 通場鰯沢堤(上野, 1966.8.19 Ueno-1229); 化女沼(上野, 1966.8.31 Ueno-1321; 小宮, 1969.8.6 NDC-2078, 2079); 長沼(小宮, 1969.8.7 NDC-2080); 加美郡色麻村王城寺原(菅谷・木村, 1954.8.26 TUS-5928); Ogonuma(菅谷・小倉, 1951.9.11 TUS-5928);

岩沼市玉蒲 (村井, 1933.9.20 OSA)

福島県福島市信夫山 (根本, 1887.9.18 TNS-23480; 松田, 1887.9.18 KYO, 1890.9.23 KYO); 郡山市中山 (牧野, 1904.5.17 MAK); 西白河郡表郷村古関 (今井, 1907.10. MAK (-153)); 深渡戸 (小宮, 1975.8.30 NDC-2663~2665, 1978.8.27 NDC-3264, 1988.9.18 NDC-4044, 4045); いわき市三和町差塩 (小宮, 1981.9.13 NDC-3267)

関東, 茨城県つくば市安食 (路川, 1975.8.14 NDC-3410; 小宮, 1975.10.4 NDC-2694, 1977.8.28 NDC-3274, 1980.9.28 NDC-3273, 1986.10.12 NDC-3621, 1989.9.17 NDC-4056); 筑波山 (村松, 1922.10.23 TI); 酒寄林道 (小宮, 1980.9.28 NDC-3272, 1986.10.11 NDC-3613, 1989.9.10 NDC-4153); つくば市大伏間 (小宮, 1975.10.4 NDC-2695); 鹿島郡神栖町神ノ池 (鈴木, 1902.9.7 MAK); 西茨城郡岩間町野口池 (小宮, 1995.10.25 NDC-8233)

栃木県宇都宮市 (牧野, 1930. MAK); 射撃場南 (鈴木, 1928.11.14 TAI-2588); 大谷 (中村, 1931.9.24 TNS-90930); 上三川町磯川 (渋谷, 1962.9.16 TOCH-9644); 南河内町祇園町 (小川, 1955.8.22 TOCH-52616); 真岡市中 (岡崎, 1905.8.23 MAK)

群馬県吾妻郡高山村 (増田, 1964.9.6 TNS-160636); 勢多郡大胡町薬師沼 (戸部, 1964.10.6 TNS-162069)

千葉県佐原市 (久保木, 1903.7.28 MAK, 1903.8.18 MAK); 成東湿原 (若名, 1932.8.20 CBM-580; 小宮, 1951.8.12 NDC-2057, 1992.9.15 NDC-4489, 1995.7.25 NDC-8186; 腰野, 1987.8.6 CBM-84047 a); 本須賀 (若名, 1902.7.28 MAK); 東金市小沼田 (若名, 1957.8.4 CBM-8319); 依古島 (若名, 1956.9.16 CBM-7582); 東金市福岡 (小宮, 1950.9.10 NDC-2056); 長生村八積 (奥山, 1936.7.5 TNS-52289; 浅野, 1952.6.15 CBM-85023; 水島, 1959.6.14 MAK-33491; 古瀬, 1958.8.6 KAG); 高根本郷 (田村, 1938.9.30 TI); 一ツ松高塚 (小宮, 1949.10.23 NDC-2055); 茂原市 (K. Miura, 1910.7.20 SAP; 小宮, 1948.5.30 NDC-2054, 1952.10.19 NDC-2059, 1962.9.16 NDC-2061, 2062, 1963.8.23 NDC-2065, 1972.10.21 NDC-2649; 山崎, 1950.8.30 TI; 大井・小山, 1953.8.23 MAK-10648; TNS-106610, KYO, TI, KAN-16810; 若名, 1957.9.29 CBM-8526; 小幡, 1969.8.27 TKB-76855); 一の宮町 (松村, 1879.8.13 TI, 1880.8. TI; 牧野, 1901.8.10 MAK); 一の宮海岸 (城, 1901.8.10 TI)

埼玉県浦和市 (高柳, 1913.9. TAI)

東京都渋谷区代々木 (大沼, 1911.9.24 TI)

中部, 新潟県村上岩ヶ崎 (牧野, 1936.9.22 MAK); 岩船郡朝日村高根田向 (片桐, 1975.8.20 NDC-2661); 新発田市深谷 (片桐, 1980.8.10 NDC-3271); 五十公野櫛形池 (小

宮, 1975. 9.6 NDC-2670, 2671); 北蒲原郡水原町大日ヶ原(柴田, 1975.9.6 NDC-2669, 2696); 豊浦町本田山(片桐, 1972.8.5 NDC-2646; 小宮, 1974.11.2 NDC-2658~2660); 笹神村島尾ヶ峰(柴田, 1995.9.5 NDC-2666~2668); 貝喰(柴田, 1975.9.6 NDC-2672~2674); 中魚沼郡津南町城原(片桐, 1975.8.25 NDC-2662); 中頸城郡柿崎町長峰池(岩野, 1968.8.23 TNS-223735); 大潟町鶴ノ池(片桐, 1973.8.18 NDC-2654, 1975.9.20 NDC-2674); 長岡市悠久山(中村, 1911.9.14 TNS-90934)

富山県小矢部市藪波(御旅屋, 1930.7.25 KYO(-263))

石川県珠洲郡内浦町松波(吉川, 1943.8.11 KAN-35157); 羽咋郡志賀町高浜(正宗, 1960.10.17 KAN-45520); 金沢市向山(市村, 1910.10.2 KAN-3537, 3538); 七尾市和倉町(河田, 1963.8.19 NDC-2064)

福井県大野市坂谷六呂師(堀, 1934.9.24 KYO); 敦賀市白木(小宮, 1983.11.20 NDC-3338, 3339)

長野県戸隠山(矢田部・松村, 1884.7.11~12 TNS-1353 a. b, 13540; S. Kunosato, 1927.7.20 TAI); 濁沢(桜井, 1892.8.3 TNS-11149); 戸隠村豊岡(水野, 1910.7.30 MAK); 飯綱原(s. col., 1927.8.2 OSA); 岩菅山渋池(寺島, 1930.9.28 SHIN); 飯山市岡山田茂木平(水島, 1953.8.14 MAK-4722); 野々海峠(横内, 1953.10. SHIN-81986); 大町市平(牧野, 1906.8.5 MAK); 居谷里池(寺島, 1949.7.30 SHIN); 居谷里湿原(奥山・内海, 1959.8.1 TNS-275179); 南安曇郡穂高町牧(松田, 1988.9.22 SHIN-156807); 北佐久郡北御牧村御牧原(牧野, 1910.7.28 MAK); 更科郡大岡村大花見(峯村, 1957.10.1 MAK-5200); 諏訪市池のくろみ湿原(松田, 1991.8.18 SHIN); 霧ヶ峯リゾートD湿原(松田, 1994.10.30 SHIN); ハヶ岳(村松, 1924.8.8 TI); 辰野町中箕輪(宮下, 1939.8.24 TNS-126657); 木曾駒ヶ岳(矢部, 1903.8.19 MAK); 木曾郡大桑村のぞきど高原(今井, 1993.10.13 SHIN-154283); 南木曾町読書(横内, 1925.9.28 SHIN-88164); 日義村原野(清水, 1967.7.18 SHIN-18289); 下伊那郡松川町大島池ノ平(伊藤, 1981.8.30 SHIN-120817); 平谷村餅小屋(浅野, 1985.10.13 SHIN-130888)

岐阜県中津川市坂本茄子川(松井, 1911.10.20 MAK); 保古山(藤井, 1987.9.15 OSA-92216); 瑞浪市日吉町(小宮, 1976.8.23 NDC-2697); 中ヶ平(小宮, 1976.8.23 NDC-2698~2700); 根ノ上湿原(小宮, 1992.9.5 NDC-4484); 高山市上枝(本田, 1925.8.13 TI); 可見市小泉(塩田, 1933.10.15 OSA; 小宮, 1976.8.23 NDC-2702); 新田(小宮, 1976.8.23 NDC-2701)

静岡県御殿場市長原(牧野, 1904.8. MAK); 伊東市一碧湖(内田, 1926.10. SAP); 東伊豆町稲取細野高原(柴田, 1999.8.28 NDC-9465); 南伊豆町波勝(野口, 1957.10.30 KAG

-5488); 榛原町仁田 (小宮, 1969.8.23 NDC-2083); 細江一の谷 (小宮, 1978.11.3 NDC-3266); 小笠郡浜岡町 (小宮, 1969.8.23 NDC-2082, 1971.7.7 NDC-2636, 2637); 浜松市三方原 (小宮, 1965.9.5 NDC-2068); 磐田郡豊岡村野部 (久松, 1889.9.TI); 浜松市五島 (橋本, 1932.8.30 TNS-43890)

愛知県豊橋市王ヶ崎町 (松村, 1881.7.29 TI); 豊橋市葦毛湿原 (北村, 1952.11.18 KYO); 小宮, 1972.10.11 NDC-2647, 2648, 1990.9.9 NDC-4259, 1991.9.21 NDC-4370; 高橋, 1981.10.6 SAPT(B.G.); 細谷町広見 (小宮, 1982.8.22 NDC-3335, 1990.9.9 NDC-4256, 1991.9.21 NDC-4398); 天伯 (小宮, 1969.8.25 NDC-2084, 2085, 1982.9.12 NDC-3336); 渥美郡赤羽根町 (小宮, 1980.7.19 NDC-3269); ムクロ山 (小宮, 1980.7.19 NDC-3270); 三河湖北岸 (小宮, 1982.12.19 NDC-3337); 猿投山 (小宮, 1973.8.29 NDC-2655~2657); 瀬戸市 (松田, 1910.10.7 TAI-3869); 尾張旭市滝ノ水池 (小宮, 1986.10.18 NDC-3628); 維摩池 (磯部, 1986.9.6 NDC-3589; 小宮, 1986.10.18 NDC-3625, 3626, 1992.8.8 NDC-4422); 春日井市森林公園 (岡本, 1950.9.29 TNS-241072; 小宮, 1986.10.18 NDC-3627); 江南市 (伊藤, 1891.10.21 TNS-61272); 名古屋市鳴海 (牧野, 1940.9.MAK; 小宮, 1967.8.14 NDC-2074~2077); 千種区覚王山 (稲垣, 1923, CBM-98772); 守山区竜泉寺 (伊藤, 1890.8.24 TNS-61271); 豊明市三崎池 (五藤, 1963.10.31 NDC-2067); 大狭間 (小宮, 1994.9.22 NDC-4951, 1997.9.13 NDC-8794); 額田郡幸田町須美 (名倉, 1896.9.20 MAK(-118)); 西尾市貝吹 (名倉, 1896.9.20 MAK(-117)); 東海市加木屋町 (戸田, 1974.9.29 TNS-324400); 知多郡東浦町緒川 (戸田, 1969.6.30 TNS-324399; 窪田, 1985.10.2 NDC-3525); 阿久比町福住 (戸田, 1969.9.TNS-324398, 1970.11.18 TNS-274844); 六平池 (戸田, 1969.8.15 TNS-324397); 長根池 (窪田, 1984.8.15 NDC-3599; 小宮, 1987.8.16 NDC-3730~3732, 1991.8.9 NDC-4344, 1993.8.6 NDC-4624, 1994.9.22 NDC-4959, 1997.9.14 NDC-8791); 武豊町壱町田湿地 (和田, 1982.7.2 NDC-3548; 小宮, 1993.8.7 NDC-4628); ニツ峰 (磯部, 1985.7.24 NDC-8587; 柴田, 1987.9.20 NDC-3766); 常滑市大谷湿地 (磯部, 1985.7.25 NDC-3588; 柴田, 1987.9.20 NDC-3770; 河合, 1988.11.4 NDC-4062; 小宮, 1993.8.7 NDC-4629, 1994.9.23 NDC-4961); 久米湿地 (小宮, 1993.8.7 NDC-4633); 美浜町河和道土池 (柴田, 1989.9.20 NDC-3767~3769, 3795)

近畿, 三重県度会郡南勢町五ヶ所 (伊藤, 1893.10.18 TNS-61273); 一志郡権現野 (伊藤, 1907.7.8 KAG); 多気町相可 (栗林, 1990.7.29 OSA-90926); 名張市桔梗ヶ丘明德池 (瀬戸, 1992.8.7 OSA-93989); 名賀郡青山町 (福岡, 1963.10.14 KYO(-6466)); 上野市法花 (瀬戸, 1986.9.28 OSA-66092); 比自岐大谷池 (瀬戸, 1991.9.21 OSA-87591));

御在所山(福岡, 1962.10.6 KYO(-5398)); 鈴鹿市道伯池(小宮, 1971.11.2 NDC-2638); 金生水(孫福, 1950.8.12 KAN-34074; 小宮, 1952.8.22 NDC-2058, 1991.8.11 NDC-4358); 玉垣町(小宮, 1979.12.2 NDC-3268, 1985.7.27 NDC-3503, 1991.8.11 NDC-4357); 玉垣町桜島池(志方, 1932.10.31 NDC-8657); 松阪市下村(藪本, 1967.10.22 NDC-2633~2635); 鶴若池(小宮, 1971.11.3 NDC-2639); 尾鷲市(佐竹・奥山, 1942.10.10 TNS-100694; 田川, 1956.11.5 KYO(-7547); Y. Higuchi, 1954.10.28 KYO); 小原野(伊藤・小林, 1959.10.20 TKB-76833; 伊藤・相馬, 1966.10.19 TKB-76831; 伊藤, 1967.10.16 TKB-76830; 中池, 1969.11.3 TNS-293396); 熊野市神川日暮山(堀, 1951.10.22 OSA-63021)

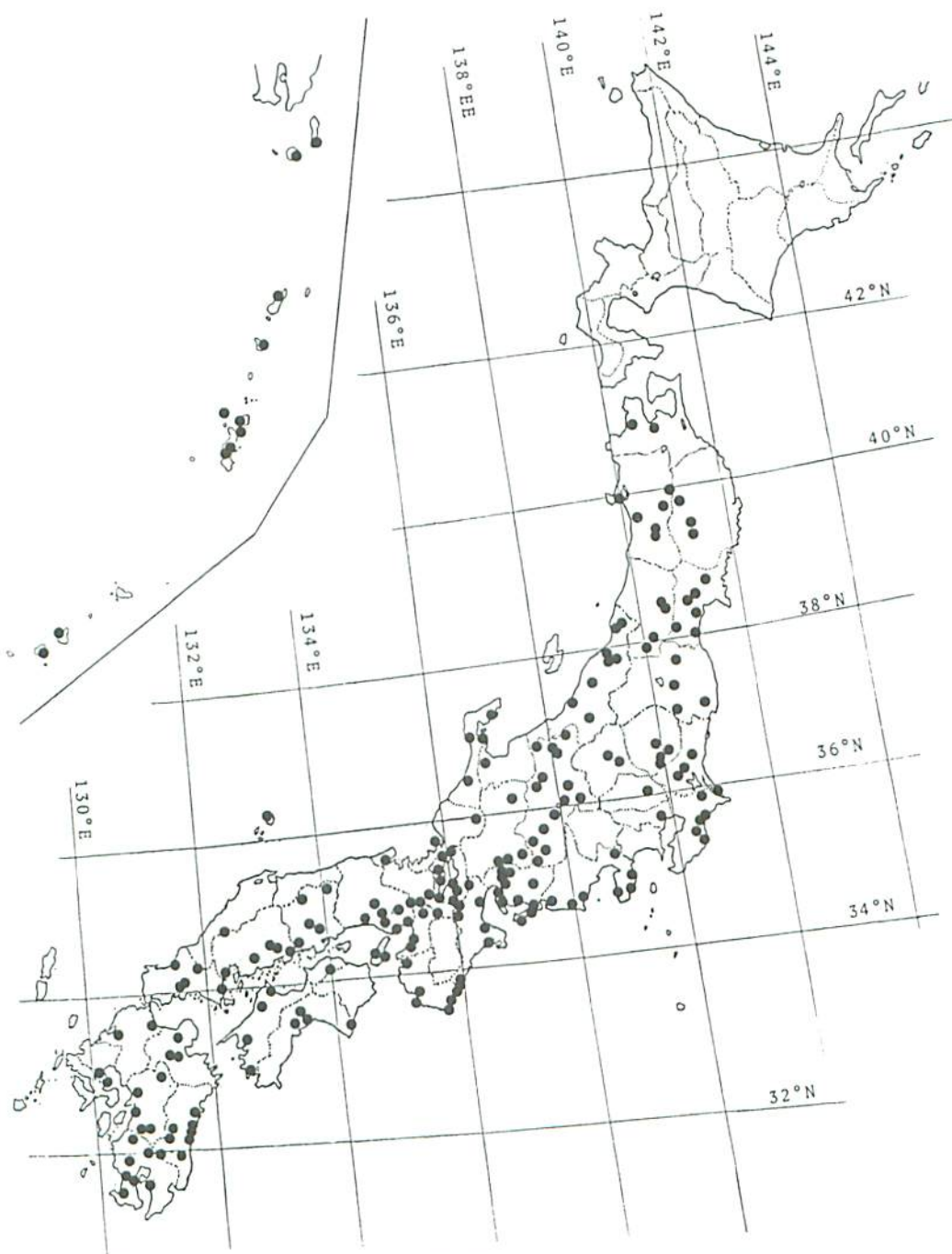
滋賀県伊香郡西浅井町沓掛(渡辺, 1964.8.8 KYO); マキノ町三国山(橋本, 1927.9.24 KYO); 堅田町真野(黒沢, 1928.6.28 KYO); 高島郡 Tenganzan(瀬戸, 1963.9.26 OSA (-12849)); 比良山系武奈ヶ岳(三木, 1927.8.26 OSA; 小山, 1960.10.6 KYO (-873), TNS-245481); 八雲原湿原(児玉, 1955.8.4 OSA (-6544), 1955.8.6 OSA (-6377)); 近江八幡市鏡山(村田, 1962.8.30 KYO (-17078)); 蒲生郡日野町北脇岡(梅原, 1984.10.19 OSA-49481); 八日市市長谷野(梅原, 1985.11.2 OSA-52093); 大津市国分町(牧野, 1923.MAK); 山上町(橋本, 1942.10.2 TI); 大津市里(上田, 1960.11.3 OSA (-110308)); 甲賀郡信楽町杉山(栗林, 1989.9.11 OSA-85917)

和歌山県和歌山市岡崎(中島, 1916.9. TI); 田辺市長井谷(s. col., 1932.10.29 TI); 秋津町(宇井, 1916.5. TAI-4295); 三橋谷(三橋, 1953.10.4 TNS-117214); 白浜町三段壁(中島, 1928.9.28 TI); 串本町大島(塚本, 1940.10.10 KYO); 東牟婁郡古座町下田原(瀬戸, 1982.8.7 OSA-50497); 新宮市(牧野, 1924.MAK); 鮎田(佐竹・奥山, 1942.10.12 TNS-109693)

京都府中郡峰山町五箇大萱(中井, 1950.9.23 KYO); 京都市上賀茂(牧野, 1905.9. MAK; Kinashi, 1920.10.17 KYO (-358)), 深泥池(園, 1908.7.18 TNS-15773; 三木, 1923.9.24 OSA, 1927.7.20 OSA; 北村, 1936.10.4 KYO; 中井, 1948.8.18 KYO; 広江, 1961.10.14 KYO (-15680); 北村・村田, 1963.9.14 KYO (-2285)); Arigaike(小泉, 1920.11. KYO); 亀岡市法貴(田川, 1950.11.9 KYO (-3753)); 向日市物集女町(山本, 1938.9.13 TNS-199412); 綴喜郡田辺町(北村, 1954.9.23 KYO); 田辺町甘南備山(山本, 1933.9.3 TNS-191900; 中井, 1950.7.9 KYO(-4509), 1950.10.26 KYO(-4994); 堀, 1954.9.23 OSA (-1095))

大阪府能勢町(森本, 1936.8.17 OSA); 剣尾山(児玉, 1950.11.3 OSA); 豊能町東能勢(堀, 1931.8.29 OSA); 茨木市福井(児玉, 1969.11. OSA-8417); 四條畷市田原台(瀬

戸, 1949.10.OSA); 堺市新家タブサ池(田代, 1935.9.24 TNS-51667); 新家(中西, 1955.5.OSA); 和泉市光明池(瀬戸, 1970.10.25 OSA-9438); 信太山(瀬戸, 1952.9.OSA); 小宮, 1978.11.2 NDC-3265); 泉南郡熊取町成合(瀬戸, 1991.11.4 OSA-87573)
兵庫県多紀郡今田町黒石(細見, 1967.9.29 KYO); 西宮市甲陽園(村田, 1955.8.23 OSA(-8876)); 甲山(柴田, 1985.9.NDC-3606); 西宮市青年の家下(瀬戸, 1971.10.4 OSA-12298, 12317); 六甲山(栗山, 1928.8.7 MAK); 六甲山ロックガーデン(橋本, 1967.9.18 OSA-46555); 六甲山オタフリ山(石川, 1935.7.20 KYO); 六甲山イモリ池(瀬戸, 1971.10.1 OSA-12583); 神戸市兵庫区Shizugaike(瀬戸, 1971.10.7 OSA-11505~11507); 三木市豊池(鳴橋他, 1971.11.6 KYO); 小野市(松島, 1918.8.TNS-37035); 青野ヶ原(瀬戸, 1970.9.23 OSA-9293, 1970.10.10 OSA-9366); 淡路島州本市千草(s.col., s.d.TI); 三原郡神代村経所(正木, 1934.8.12 OSA); 五色町堺桜井手(s.col., s.d.TI); 加西市善防池(小宮, 1975.9.26 NDC-2690~2693); 多可郡中町のぎく療育園(小宮, 1995.10.15 NDC-8228); 社町山田池(小宮, 1995.10.14 NDC-8209, 8211); 奥新池(小宮, 1995.10.14 NDC-8214); 姫路市大沢池(小宮, 1974.9.26 NDC-2689); 皿池(小宮, 1975.9.26 NDC-2686~2688); 奥池(小宮, 1975.9.25 NDC-2685)
中国, 岡山県真庭郡川上村東茅部(徳田尋常高小, 1932.8.10 TI); 那岐山麓(Arimoto, 1903.8.4 SAP); 勝北町日本原(高山, 1961.6.23 TNS-152567); 浅口郡鴨方町天草池(仁科, 1910.7.31 MAK); 井原市(山本, 1969.10.NDC-2086); 岡山市日応寺(榎本, 1979.10.10 KURA-8896); 上房郡賀陽町(笠原, 1966.9.12 KURA-5774)
島根県那賀郡金城町大佐山(古和, 1917.8.18 KAG; 内藤, 1930.8. KAG); 隠岐島五箇村(野津, 1981.8.1 OSA-36168)
広島県福山市津之郷町加屋(松本, 1993.8.NDC-4741); 芦品郡御領村(市村, 1903.11.KAN-3534 b); 御調郡久井町江木(内山, 1989.10.20 NDC-3807); 世羅郡甲山町宇津戸(佐々木, 1903.8.12 MAK); 世羅町切池(内山, 1987.10.20 NDC-3805); 伊之藤池(内山, 1987.10.20 NDC-3806); 賀茂郡河内町用倉山(田代, 1931.10.18 KYO, MAK); 佐伯郡大野町八坂峽(Miyagi, 1971.9.23 RYU-11257 a); 宮島(佐藤, 1932.10.26 KAN-8587)
山口県阿武郡阿東町徳佐(見明, 1968.9.23 RYU-38857); 萩市松本(二階, 1917.10.7 TNS-46392); 岩国市藤生町(岡林, 1906.8.15 MAK); 山口市(小宮, 1960.7.20 NDC-2060); 小郡町水上(二階, 1898.8.24 TNS-46393, TI(-503))
四国, 香川県香川郡塩江町安原(藤沢, 1909.9.MAK); 木田郡三木町奥鹿(三木, 1923.8.10 OSA)



Distribution map of *Utricularia bifida* L.

図1 ミミカキグサの分布図

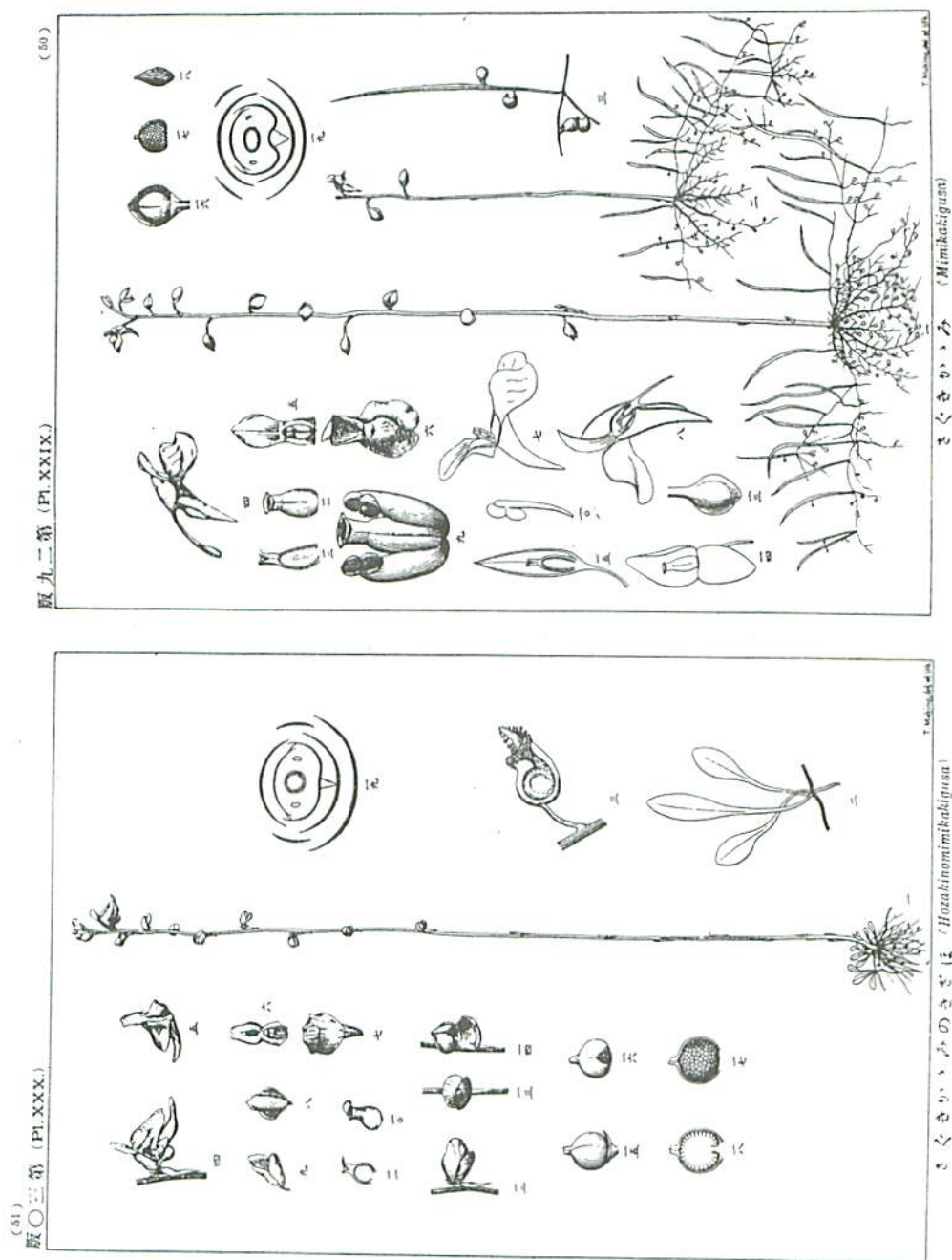


図2 牧野富太郎「日本植物志図篇」1巻5集(1890年)に掲載されたミミカキグサとホザギノミミカキグサ

高知県安芸郡東洋町野根(清水, 1955.11.22 SHIN-7974);高知市(牧野, 1891.11. MAK);土佐町柚ノ木(牧野, 1889.8.6 MAK-524, 2125);佐川町カスタニ(牧野, 1887. 9.7 MAK-2115)

愛媛県今治市桜井(上窪田, 1977.11.NDC-3263);松山市則之川(牧野, 1891.9.29 MAK);松山市桑原町(長沢, 1897.9.19 TNS-53295);東宇和郡宇和町小野田(野村, 1960.8.15 KYO);南宇和郡城辺町(小林, 1932.10.23 OSA)

九州, 福岡県豊津町(中野, 1895.10.3 SAP);福岡市三ツ沢(小宮, 1963.10.6 NDC-2066);粕屋町長者原湿原(長野, 1891.10.9 TI (-182))

佐賀県西松浦郡黒髪山(橋本, 1949.9.16 TI);嬉野(矢田部・松村, 1882.8.13 TI)

大分県宇佐郡安心院町且尾(松村, 1880.10.TI);湯布院町小田ノ池(荒金, 1955.9.25 TNS-122020, 122021;佐藤, 1963.9.7 KAG-3360);玖珠町森タクミ(池部, 1928.7.24 KYO)

熊本県阿蘇町無田(上妻, 1905.9.24 MAK (-436);内牧(上妻, 1915.10.15 TNS-188098);熊本市託麻供合(上尾, 1895.9.17 MAK (-435));球磨村松ヶ野(牧野, 1905. 8.4 MAK);八代市高田(中島, 1909.10.TI);人吉市人吉(中島, 1911.10.TI)

宮崎県日向市米の山海岸(西, 1977.8.3 MIYZ-7062);美々津(平田, 1955.9.13 MIYZ -7057)西諸県郡須木村ままこ滝(南谷, 1974.8.18 MIYZ-7061);児湯郡都農町(斉田, 1891.8.10 TNS-11148;平田, 1955.9.18 MIYZ-7058);川南町(平田, 1952.9.23 MIYZ -7055;金丸, 1978.9.7 MIYZ-16887);川南町鬼ヶ久保(初島他, 1958.10.20 KAG-22770);川南湿原(金丸, 1979.9.2 MIYZ-19138;瀬野, 1993.9.15 NDC-4740;小宮, 1993.11.9 NDC-4749);新茶屋湿原(瀬野, 1993.8.31 NDC-4738;小宮, 1993.11.9 NDC -4753);新茶屋堤(小宮, 1993.11.9 NDC-4965);高鍋町高鍋湿原(金丸, 1979.7.15 MIYZ-20537);西都市上穂北(平田, 1954.6.16 MIYZ-7056);八重山(横山, 1972.8.10 MIYZ-7060);平原(滝, 1973.8.20 MIYZ-16244, 1975.6.23 MIYZ-16886);三納(大野, 1979.8.7 MIYZ-20525);宮崎郡田野町(平田, 1963.9.22 MIYZ-7059);霧島山(田代, 1887.8.6 KYO);赤松千本(s.col., 1966.10.20 MIYZ-7066)

鹿児島県大口市西太良(初島・佐古, 1960.9.4 KAG-25319, 25336, MAK-21476);伊佐郡吉松町(初島・佐古, 1960.10.4 KAG-25557);祁答院町関牟田池(佐古, 1957.10.26 KAG (-1435);小宮, 1993.11.10 NDC-4763, 4764);東市来町伊作(牧野, 1909.3. MAK);鹿児島市鹿大(古河, 1910.9.KAG-5446);下伊敷(村上, 1930.9.KAG);加世田市加世田(牧野, 1890.11.8 MAK);武田(中野, 1913.8.20 TKB-76832);垂水市本城(中野, 1912.10.19 TNS-23410);種子島中之下(大井・岡本, 1953.11.5 TNS-105980);

屋久島花之江川 (初島, 1950.10.30 KAG-14808); 永田川 (田川・近田, 1964.8.17 KYO (-434)); 大島郡大和村〜名瀬市 (正宗, 1956.11.10 CBM-96437); 徳之島亀津〜伊仙 (大場, 1928.8.24 KYO (-219))

琉球, 沖縄県国頭郡国頭村奥間 (友寄, 1923.8.KYO); 羽地村仲尾次 (金城, 1937.8.29 RYU-26025, TNS-221998); 名護市 (牧野, 1909.7.10 MAK); 名護岳 (伊藤, 1894.8.24 TNS-60189); 中頭郡北谷村 (多和田, 1930.11.31 KAG(-458)); 石川市 (初島, 1955.6.5 KAG-18078; Niino, 1957.11.2 RYU-18996); 石川ダム (仲嶺, 1954.10.31 TNS-114329, RYU-41027, KAG); 伊是名島大野山 (仲田, 1973.8.19 RYU-12101); 石垣島川平 (高嶺, 1938.1.18 TNS-220882); 西表島 (小泉, 1923.7.1-20 KYO); 祖納村 (伊藤, 1894.8.13 TNS-60190); カンピレ滝 (若原, 1977.3.10 SHIN); 浦内川上流イナバ (福山, 1938.6.5 TAI-7086)

5. ホザキノミミカキグサの発見史と世界分布

Linnaeus 「Species Plantarum」 18 頁 (1753) に *Utricularia caerulea* が記載されているが, 既にリンネは「Flora Zeylanica」 23 頁 (1747) にこの学名を報告済みであった。その原典は, Rheede 「Hortus indicus malabricus……」 9 巻 137 頁 70 図 (1689) である。

松村任三「日本植物名彙」 197 頁 (1884) に “*Utricularia caerulea* L. ホザキノミミカキグサ” と引用し, 初めて和名を公表した。ところが, J. D. Hooker 「Flora of British India」 4 巻 333 頁 (1885) に C. B. Clarke がインド産のホザキノミミカキグサに *U. racemosa* Wall. なる学名を当てた。その後, A. De Candolle (1844), D. Oliver (1859), C. J. Maximowicz (1888) らによってもその学名が使用されたため, インド〜中国〜日本に分布するものの学名として *U. racemosa* が定着してしまった。日本でも, 牧野「日本植物志図篇」 1 巻 5 号 30 図 (1890) (図 2) でその学名を踏襲し, 松村も「改訂増補植物名彙」 304 頁 (1895) で *U. racemosa* の学名に改変した。

というのも, リンネの *U. caerulea* のタイプ標本と考えられるものが複数存在し, 簡単な記載から特徴を絞り込むことができないため, セイロン (スリランカ) 産で紫花の咲く近縁種 (*U. reticulata* など) と混同されてきた。そして, J. S. Gamble 「Flora of Madras」 2 巻 983 頁 (1924) などの指摘にも拘らず, 見直されることがなかった。ようやく, P. Taylor が厳正なタイプ選定を試みた結果, 「Flora Malesiana」 ser. 1, 8 巻 287 頁 (1977) で再び *U. caerulea* のラテン名を採用した。そして, 日本産種にも *U. caerulea* のラテン名を Komiya & Shibata 「Distribution of the Lentibulariaceae in Japan」 (1980) が再び採用

し, ようやく, リンネの命名が通用するようになった(大井・北川「新日本植物誌 顕花編」1364 頁(1983); 環境庁自然保護局「植物目録」149 頁(1987) など)。

Utricularia caerulea L., Sp Pl. 18 (1753) ; Matsumura, Nom. Jap. Pl. 197 (1884)

Syn. *Calpidisca Takenakai* Nakai, J. Jap. Bot. 17: 193 (1941)

Pelidnia caerulea (L.) Barnhart, Mem. N.Y. Bot. Gard. 6: 55 (1916)

U. affinis Hayata ex Sasaki, List Pl. Formos. (1928), non Wight

U. albina Ridl., Fl. Mal. Penins. 2: 493 (1923)

U. baueri R. Br., Prodr. Nov. Holl. 431 (1810)

U. campestris Miq. ex C.B. Clarke in Hook. f., Fl. Brit. Ind. 4: 333 (1885)

U. capillaris D. Don, Prodr. Fl. Nep. 85 (1825)

U. cavalerii Stapf, Kew Bull. 1910: 195 (1910)

U. charnleyensis Fitzgerald, J. Roy. Soc. W. Austr. 3: 207 (1918)

U. Complanata Wall., Cat. no. 1497 (1829), nom. nud.

U. filicaulis Wall., Cat. no. 1501 (1829)

U. kerii Craib, Kew Bull. 1911: 429 (1911)

U. Kirkii Stapf in Dyer., Fl. Cap. 4 (2): 428 (1904)

U. nivea Vahl, Enum. 1: 203 (1804)

U. obtusiloba Benj., Linnaea 20: 312 (1847)

U. ophirensis Ridl., J. Bot. 33: 10 (1895)

U. paucifolia Benj., Linnaea 20: 309 (1847)

U. purpurea Willd. ex Benj., Linnaea 20: 309 (1847) , non Walt.

U. racemosa Wall., Cat. no. 1496 (1829)

U. racemosa Wall. var. *filicaulis* Clarke in Hook. f., Fl. Brit. Ind. 4: 333 (1884)

U. racemosa Wall. form. *leucantha* Komiya, Syst. Stud. Lentib. 54 (1972)

U. racemosa Wall. form. *parva* Watase (1881), in sched. (SAP)

U. rosea Edgew., Proc. Linn. Soc. London 1: 352 (1847)

U. roseo-purpurea Stapf ex Gamble, Fl. Madras 2: 983 (1924)

U. setacea Wall., Cat. no. 6398 (1829), partim

U. sootepensis Craib, Kew Bull. 1911: 430 (1911)

U. squamosa Benj., Bot. Zeit. 3: 212 (1849)

6. 日本におけるホザキノミミカキグサの発見史

1880年8月松村任三が千葉県上総一宮で採集した標本が最古のもので、東京大学理学部(TI)に収蔵されている。次いで、1881年渡瀬寅次郎が北海道岩見沢市幌向原野で採集し、*U. racemosa* f. *parva*, MSS と学名が記された標本が北海道大学農学部(SAP)に残されている。これが現存する北海道産ミミカキグサ類最古の標本である(北海道にはムラサキミミカキグサ *U. uliginosa* Vahl も分布する)。

1883年8月20日牧野富太郎(当時21才)が郷里の高知県佐川町でホザキノミミカキグサを採集している。これが牧野の採集した食虫植物最古の標本の一つで、この頃から牧野の採集活動が盛んになったことが分かる。1884年7月11日には、矢田部・松村らによって戸隠山でホザキノミミカキグサを含む3種のミミカキグサ類が採集されている。一般的にミミカキグサと違って、ホザキノミミカキグサは一ヶ所に群生することは稀で、散生することが普通のようなのである。白花品種 f. *leucantha* が稀に見られることがある。

それでは、地域ごとに古い採集記録をたどり、また現状について考察してみよう。

[北海道] 1881年渡瀬寅次郎が岩見沢市幌向原野で採集した標本が最も古い。これは、我が国でのホザキノミミカキグサ発見第2号である。次いで、1893年9月に小田切栄三郎が石狩郡当別町で採集している。さらに、1918年9月22日工藤祐舜によって江別市対雁で、1919年8月15日には工藤と吉井義次によって新篠津湿原でも採集された。そして、1925年8月16日三木茂が幌向で再確認して以来、ホザキノミミカキグサの採集記録が途絶えてしまった。館脇操「石狩幌向原野植物目録II」(札幌農林学会報105号, 1931)にはムラサキミミカキグサがリストアップされているが、ホザキノミミカキグサは除外されており、既に北海道では絶滅したものと思われていた(Komiya & Shibata 1980)。

ところが、1984年9月1日外山雅寛によって新篠津湿原で再発見された。これは、共に北海道では絶滅したと考えられていたムラサキミミカキグサが、1982年8月17日に釧路湿原で滝田謙譲によって発見された^(注1)ことに刺激されての精査の結果の収穫であった。しかし、新篠津の自生地も1986年9月頃には消滅してしまった。そして再び、1998年9月5日外山と勝俣員伊が樺戸郡月形町月ヶ湖湿原でホザキノミミカキグサを発見した(外山・勝俣1999)。

^(注1) 田中瑞穂「釧路の植物」79頁(1963), 「釧路湿原の植生」(釧路湿原総合調査報告書107

～160頁, 1975)などにムラサキミミカキグサの自生が記録されているが, 証拠標本が見当たらない。

[東北] 不思議なことに, 青森県ではホザキノミミカキグサの採集記録がない。岩手県では, 1899年9月23日牧野富太郎が一関市で採集している。秋田県ではずっと遅く, 1926年9月4日奥山春季が秋田市土崎で採集したのが初めてである。山形県では, 1909年9月5日吉田貞次が米沢市矢子山で採集したものが最も古い。宮城県では, 松田英二が1910年10月15日仙台市蒲生沼で採集したのに始まる。福島県では, 遠藤隆吉が1912年8月18日須賀川市で採集した標本が最も古い, 今でもまだ各地に多くの自生地を見ることができる。

[関東] 茨城県では, 1918年10月12日小倉謙が筑波山で採集したものが最古で, 栃木県では, 1902年9月15日牧野が足利市寺岡町で採集している。群馬県では, 1955年8月24日関根(島野)好次が館林市近藤沼で採集した記録のみが残されているが, 既に絶滅した。千葉県では, 1880年8月松村による上総一宮町での採品が日本最古のものであり, 田代善太郎(1893年), 牧野(1901年, 1904年)らも同町で採集をつづけている。また, 久保木秀司は1903年7月28日に佐原市でも採集した。しかし, これらの自生地の殆どは消滅し, 現在では, 県内で僅かの自生地が残存するのみである。埼玉県で採集された標本は見当たらないが, 寄居町に残存することが確かめられている(寄居町教育委員会 1997)。

[中部] 新潟県では, 1910年10月2日中村正雄が長岡市深才で採集した標本が最も古い。富山県では, 下新川郡朝日町で結城嘉美が1904年10月11日に, 1905年9月25日には牧野が婦負郡八尾町で採集している。福井県では, 1934年9月5日細井与三右衛門が武生市真野で採集したのが初めてである。岐阜県では, 1902年8月22日に牧野が多治見市で採集した標本が最も古い。長野県では, 1884年7月11-12日に矢田部・松村らによって戸隠山で採集されたものが最古である。静岡県では, 1889年10月15日久松問孝が磐田郡豊岡村で採集した標本が最も古い。以上各県の自生地の殆どは失われてしまい, ごく僅かな自生地が残存するのみである。

愛知県では, 伊藤篤太郎による1890年8月26日名古屋市竜泉寺での採品が最古で, 同じく伊藤による江南市(1891年), 牧野による名古屋市千種区(1893年)や豊橋市高師(1893), そして, 名倉間一郎による幸田町須美(1896年)などで採集された古い標本が残されている。これらの自生地は消滅してしまったが, 県内には他に多くの自生地が現存する。

[近畿] 三重県では, 意外と古い記録が見られなく, 1928年9月16日松山外次郎の鈴鹿市玉垣町での採品が最も古い。滋賀県では, 1902年9月28日園一郎が大津市瀬田山で採集

したものが最古である。和歌山県では、1916年9月中島濤三が和歌山市岡崎で採集したものが最も古い。京都府では、1905年9月牧野が上賀茂で採集している。大阪府では、1933年8月8日岸本修が能勢町妙見山で採集したのが初めてである。さらに、奈良県では、1989年9月30日瀬戸剛が奈良市忍辱山で採集するまで記録がない。兵庫県では、1902年9月12日牧野が六甲山有馬側で初めて採集している。以上の各県の自生地は消滅しているが、他に多くの自生地が知られている。

[中国]岡山県では、1901年8月30日西原一之助が阿部山で、つづいて、二階重楼が1902年10月5日岡山市長野で、また、1903年8月1日には吉備郡高松町でも採集している。

広島県では、1905年9月に松本が広島市佐伯区仏峠で、1909年10月丹信実が宮島で採集している。各県ともまだ可成りの自生地が残存する。

山口県では、1898年8月24日二階重楼が小郡町氷上で採集した標本が最も古い。

[四国]香川県では、1923年8月22日三木茂が綾歌郡国分寺町で採集した標本のみが残されている。高知県佐川町で、牧野が1883年8月20日に採集した記録が四国では最も古い。愛媛県では、1894年6月24日奥平幹一が松山市畑寺で、1897年7月4日と同年8月12日に梅村甚太郎が松山市の桑原と高浜で採集しているが、いずれも絶滅した。

[九州・沖縄]福岡県では、1891年10月19日長野菊次郎が粕屋町新長者原で採集した標本が最も古く、1920年10月24日鍋島与平が八女市湯納楚での採品がそれに次ぐ。佐賀県では、1951年9月22日橋本保が金立山で採集した記録のみが、長崎県では、1920年9月13日J. Kōdaが長崎市松山町で採集した標本のみが残されている。大分県では、1921年9月2日田代善太郎が下毛郡八面山で初めて採集している。熊本県では、1895年8月4日牧野の球磨村松ケ野での採集標本が最も古い。宮崎県では、1891年8月15日斎田功太郎が児湯郡都農町で採集したものが最も古い。鹿児島県では、1911年8月20日河本巳春が鹿児島市吉野町で初めて採集した。上記の自生地はいずれも絶滅したところが多く、現在では、他に幾つかの自生地が知られているのみである。

沖縄県では、1973年8月19日沖田栄二が伊是名島大野山で採集した1点の標本があるのみで、現存は難しい。

7. ホザキノミミカキグサの分布(図3)と標本目録

北海道、石狩郡当別町(小田切, 1893.9.9 SAP); 新篠津湿原(工藤・吉井, 1919.8.15 TAI-8027; 外山, 1984.9.1 NDC-3408); 岩見沢市幌向(渡瀬, 1881. SAP; 三木, 1925.8.16 OSA); 樺戸郡月形町月ヶ湖湿原(外山・勝俣, 1998.9.5 NDC-9050, 9051); 江別市対雁

(工藤, 1918.9.22 TAI-4366 a)

東北, 岩手県盛岡市飯岡 (東海林, s. d. OSA); 紫波郡矢巾町南昌山 (鳥羽, 1933.10.15 OSA); 一の関市霜后 (牧野, 1899.9.23 MAK)

秋田県秋田市手形山 (村松, 1929.9.15 TI); 土崎港 (奥山, 1926.9.4 TNS-294228); 田沢湖町無謝田 (伊藤, s. d. TKB-76835); 仙北郡神岡町小方角沢湿原 (小宮, 1997.10.21 NDC-8844)

山形県南陽市赤湯白竜湖 (結城, 1939.8.15 TNS-137501); 東置賜郡川西町小松 (加藤, 1941.10.8 KAN-2554); 米沢市矢子山 (吉田, 1909.9.5 MAK)

宮城県加美郡色麻村王城寺原 (菅谷・小倉, 1954.8.26 TUS-5911); 宮城郡七ツ浜村湊浜 (小倉, 1914.10.11 TI); 仙台市蒲生沼 (松田, 1910.10.15 TAI-3870); 亶理郡山元町山下 (村井, 1933.9.14 OSA); 亶理町浜吉田 (小宮, 1969.8.6 NDC-2296)

福島県須賀川市 (遠藤, 1912.8.18 TUS-5913); 猪苗代町戸ノ口 (三木, 1927.10.17 OSA); 赤井谷地 (岡本, 1938.8.28 KYO); 西白河郡 (今井, 1907.9. MAK); 東村釜子 (鈴木, 1932.8.12 KYO (-208)); 白河市外裏 (斉藤, 1940.9.23 SAPT(B.G.)-20082); 表郷村深渡戸 (小宮, 1975.8.30 NDC-2761, 2762, 1988.9.18 NDC-4043); いわき市三和町差塩 (小宮, 1981.9.13 NDC-3288)

関東, 茨城県つくば市大伏間 (小宮, 1975.10.4 NDC-2793, 1977.8.28 NDC-3275, 3276); 安食 (小宮, 1984.9.16 NDC-3400, 1986.10.12 NDC-3619, 3620); 筑波山 (小倉, 1918.10.12 TI; 村松, 1922.10.23 TI); 酒寄林道 (小宮, 1980.9.28 NDC-3286, 3287, 1986.10.11 NDC-3617, 3618, 1989.9.10 NDC-4154); 笠間市佐白山 (長本, 1955.8.25 TNS-123328); 岩間町野口池 (小宮, 1995.10.25 NDC-8232 a, b)

栃木県宇都宮市姿川南大沼 (鈴木, 1929.9.6 TAI-1062); 多気山 (中村, 1931.9.24 TNS-90938); 雀宮町 (小川, 1967.9.10 TOCH-52622); 上三川町磯川 (鈴木, 1930.10.5 TAI); 磯川湿原 (中村, 1930.8.10 TNS-90931; 佐竹, 1940.9.15 TNS-90937; 奥山, 1940.9.15 TNS-90932; 古瀬, 1959.8.17 KAG; 渋佐, 1962.9.16 TOCH-9646); 南河内町祇園 (小川, 1955.8.22 TOCH-52621); 真岡市中 (岡崎, 1905.8.23 MAK); 足利市寺岡町 (牧野, 1902.9.15 MAK)

群馬県館林市近藤沼 (関根, 1955.8.24 CBM-8290)

千葉県我孫子市 (藤田, 1935.9.1 TI); 佐原市牧野 (久保木, 1903.7.28 MAK); 成東湿地 (小宮, 1951.8.12 NDC-2275, 2276; 腰野, 1987.8.6 CBM-84047 b, 1987.9.2 CBM-84065); 東金市武射田 (志方, 1924.10.4 NDC-8660); 依古島 (若名, 1951.8.12 KAN-35498, 1956.9.16 CBM-7541); 広瀬 (若名, 1957.8.4 CBM-8323); 福岡 (小宮, 1950.

9.10 NDC-2274)；大網白里町増穂(田村, 1938.8.17 TI)；長生村高根本郷(田村, 1938.9.30 TI)；蕨塚(田辺, 1993.10.18 CBM-114960)；八積(古瀬, 1958.8.6 KAG)；茂原市(三浦, 1910.7.29 SAP, 1911.7.14 SAP)；山崎, 1950.8.30 TI)；小宮, 1952.10.19 NDC-2281, 1962.7.16 NDC 2283~2286)；大井・小山, 1953.8.23 MAK-10649, TNS-106611, TUS-5912, KAG, KYO, TI, KAN-16808)；若名, 1957.9.29 CBM-8527)；一の宮(松村, 1880.8. TI)；田代, 1893. KYO)；牧野, 1901.8.10 MAK)；一の宮海岸(城, 1901.8.10 TI)；牧野, 1904.8.19 MAK)

中部, 新潟県新発田市五十公野榊形池(小宮, 1975.9.6 NDC-2766, 2767)；深谷(片桐, 1980.8.10 NDC-3285)；北蒲原郡水原町大日ヶ原(柴田, 1975.9.6 NDC-2804, 2805, 1976.9.5 NDC-2804, 2805)；笹神村島尾ヶ峰(柴田, 1975.9.5 NDC-2763)；貝喰(柴田, 1975.9.5 NDC-2764, 2765)；豊浦町本田山(小宮, 1974.11.2 NDC-2758)；東蒲原郡村松町大堤(小宮, 1979.8.18 NDC-3281, 3282)；長岡市深才(中村, 1910.10.2 TNS-90935)；悠久山(中村, 1911.9.24 TNS-90936)；小千谷市片桐町(片桐, 1975.8.10 NDC-2759)；中魚沼郡津南町城原(片桐, 1975.8.25 NDC-2760)

富山県下新川郡朝日町宮崎(結城, 1904.10.11 MAK)；婦負郡八尾町深谷(牧野, 1905.9.25 MAK-325)

福井県大野市坂谷(堀, 1953.8. TNS-130275)；武生市味真野(細井, 1934.9.5 TI)；敦賀市白木(小宮, 1983.11.20 NDC-3342, 3343)

岐阜県高山市上枝(本田, 1925.8.13 TI)；中津川市坂本保古山(藤井, 1987.9.15 OSA-92217)；端浪市中ヶ平(小宮, 1976.8.23 NDC-2795~2797)；日吉町平岩(小宮, 1976.8.23 NDC-2798~2800, 2808(白花), 2809(白花))；可児市小泉(小宮, 1976.8.23 NDC-2801)；新田(小宮, 1976.8.23 NDC-2802, 2803)；多治見市(牧野, 1902.8.22 MAK)；長野県戸隠山(矢田部・松村, 1884.7.11-12 TNS-13539 a)；飯網原(三木, 1927.8.2 OSA)；正宗, s. d. CBM-90624, 90626)；大町市居谷里池(寺島, 1949.8.27 SHIN)；居谷里湿原(奥原, 1962.9.2 SHIN-144192)；今井, 1994.9.19 SHIN-170157)；南安曇郡穂高町牧の堤(寺島, 1951.8.27 SHIN, 1952.8.27 SHIN)；木曾郡上松町上松(横内, 1925.9.26 SHIN-91244)；下伊那郡下条村親田(尾曾, 1990.9.15 SHIN-150885)；すぐでの池(松田, 1990.9.15 SHIN-152662)；松川町大島池の平(伊藤, 1981.8.30 SHIN-120846)

静岡県東伊豆町稲取細野高原(田中, 1998.9.13 NDC-9151)；柴田, 1999.8.28 NDC-9466~9468)；南伊豆町波勝(野口, 1957.9.11-13 KAG-5140, 1957.10.30 KAG-5487)；榛原町細江一の谷(小宮, 1978.11.3 NDC-3280)；小笠郡浜岡町七ツ山砂丘(小宮, 1969.8.23 NDC-2297)；藤枝市瀬古(小宮, 1971.7.7 NDC-2720, 2721)；森町陣屋峠(小宮,

1971.7.7 NDC-2722~2725)；小国神社(小宮, 1968.8.12 NDC-2295, 1971.7.7 NDC-2726~2728)；浜松市幸町四ツ池(小池, 1964.8.5 NDC-2291)；磐田郡豊岡村(久松, 1889.10.15 TI)；湖西市新所原(小池, 1964.8.24 NDC-2292)

愛知県江南市(伊藤, 1891.10.21 TNS-61270)；南設楽郡作手村(大井・小山, 1954.10.15 TNS)；長の山湿原(小宮, 1984.9.8 NDC-3398)；豊橋市葦毛湿原(奥山, 1966.8.30 TNS-288224)；小宮, 1967.8.14 NDC-2293, 2294, 1972.10.11 NDC-2743~2745, 1990.9.9 NDC-4260, 1991.9.21 NDC-4371)；高橋, 1981.10.6 SAPT(B.G.)-1924)；高師(牧野, 1893.11. MAK)；天伯(小宮, 1969.8.25 NDC-2298, 2299, 1971.7.31 NDC-2729~2732, 1982.9.12 NDC-3341)；細谷町広見(小宮, 1982.8.22 NDC-3340, 1990.9.9 NDC-4257, 1991.9.21 NDC-3499, 1996.9.8 NDC-8500)；東細谷(小宮, 1974.8.25 NDC-2752~2755)；渥美郡赤羽根町(小宮, 1980.7.19 NDC-3283, 3284)；瀬戸市品野町上半田川(田代, 1931.9.5 KYO)；稲垣, 1949.10.7 CBM-113701)；猿投山(小宮, 1972.10.13 NDC-2746, 2747, 1973.8.25 NDC-2748~2751, 2807(白花), 1974.8.26 NDC-2756, 2757)；尾張旭市維摩池(磯部, 1986.9.6 NDC-3592)；小宮, 1986.10.18 NDC-3624, 1988.10.15 NDC-4050)；豊明市三崎池(五藤, 1963.10.31 NDC-2290)；大狭間(小宮, 1994.9.22 NDC-4952, 1997.9.13 NDC-8795)；名古屋市(井波, 1956.9.16 CBM-70578)；千種区(牧野, 1893. TI)；竜泉寺(伊藤, 1890.8.26 TNS-61269)；額田郡幸田町須美(名倉, 1896.9.20 MAK-119)；東海市加木屋 Tōji-ike(戸田, 1974.9.29 TNS-324396)；知多郡阿久比町板山(窪田, 1984.8.13 NDC-3382)；長根池(小宮, 1985.9.12 NDC-3602, 1987.8.16 NDC-3733, 3734, 1991.8.9 NDC-4348, 1992.8.9. NDC-4423, 1994.9.22 NDC-4958, 1997.9.14 NDC-8793)；武豊町壺町田湿地(和田, 1982.8.25 NDC-3550)；ニッ峰(磯部, 1985.7.24 NDC-3590)；柴田, 1987.9.20 NDC-3772, 3773)；常滑市大谷湿地(磯部, 1985.7.25 NDC-3591)；柴田, 1987.9.20 NDC-3775~3779)；河合, 1988.11.4 NDC-4063, 4064)；小宮, 1993.8.7 NDC-4630, 1994.9.23 NDC-4962)；久米湿地(小宮, 1993.8.7 NDC-4634)；美浜町河和道土池(柴田, 1987.9.20 NDC-3774)

近畿，三重県四日市市御池(安井, 1940.9.1 OSA, 1951.8.2 TNS-86764(白花), NDC-2277, 2278(白花), OSA(白花)；小宮, 1952.8.21 NDC-2280)；鈴鹿市道伯池(中井, 1951.9.8 KYO(-5637))；河芸郡玉垣町(松山, 1928.9.16 CBM-104485)；小宮, 1985.7.27 NDC-3504, 1991.8.11 NDC-4355, 4356)；亀山市池山せきすい峡(福岡, 1962.9.9 SHIN-5182)；野登山(福岡, 1962.9.9 KYO-5182)；上野市比自岐大谷池(瀬戸, 1991.9.21 OSA-87613, 1982.10.2 OSA-50166)；法花(瀬戸, 1986.9.28 OSA-66091)；名張市国津(中井, 1950.8.25 KYO(-4734))；桔梗ヶ丘明德池(瀬戸, 1992.8.7 OSA-93990)；

名賀郡青山町(福岡, 1963.10.14 KYO (-6467)); 度会郡小俣町明野(中馬, 1968.8.22 TI); 多気郡明和町新池(小宮, 1971.11.3 NDC-2733, 2734); 松阪市下村(藪本, 1967.10.22 NDC-2719); 鶴若池(小宮, 1971.11.3 NDC-2735, 2737~2742); 熊野市木本町切立(小出, 1957.8.26 KYO (-492))

滋賀県高島郡 Tenganzan(瀬戸, 1963.9.26 OSA (-12845); 四ヶ背山(橋本, 1952.9.18 TNS-114767); 志賀町小松(村田・西村, 1972.9.23 KYO (-611)); 近江八幡市鏡山(村田, 1962.8.30 KYO (-17077); 八日市市長谷野(梅原, 1985.11.2 OSA-52092); 蒲生郡日野町清田(橋本, 1954.10.10 TNS-114751); 北脇岡(梅原, 1984.10.19 OSA-49482); 大津市瀬田山(園, 1902.9.28 TNS-15784, 15785); 国分(牧野, 1923.MAK); 田上山(上田, 1960.11.3 OSA); 甲賀郡甲西町正福寺(梅原, 1987.7.28 OSA-59116); 信楽町杉山(栗林, 1989.9.11 OSA-85916)

奈良県奈良市忍辱山(瀬戸, 1989.9.31 OSA-78837, 78839)

和歌山県和歌山市岡崎(中島, 1916.9.TI); 田辺市(牧野, 1924.9.24 MAK); 田辺市新庄(中島, 1924.9.TI); 白浜町三段壁(中島, 1928.9.28 TI)

京都府園部町るり溪(広江, 1951.10.13 KYO (-7200)); 京都市上賀茂(牧野, 1905.9.MAK); 深泥池(三木, 1923.9.25 OSA, 1926.9.10 OSA, 1927.8.21 OSA; 丹, 1925.9.12 TNS-39498, KYO; 志方, 1932.10.27 NDC-8656; 小宮, 1951.9.15 TNS-109218, NDC-2279; 北村・村田, 1963.9.14 KYO (-2278)); 伏見区大岩山(上田, 1960.9.4 OSA); 田辺町(中井, 1950.10.26 KYO-4993; 堀, 1954.9.23 OSA (-1096)); 甘南備山(山本, 1933.9.3 TNS-191901; 中井, 1946.8.18 KYO (-2924)); 船井郡丹波町須和(村田, 1954.9.28 KYO (-8323))

大阪府豊能郡能勢町山辺(長野, 1984.9.28 OSA-47298); 剣尾山(児玉, 1950.11.3 OSA); 妙見山(岸本, 1933.8.8 OSA); 西能勢(森本, 1936.8.17 OSA); 豊能町(堀, 1936.5.17 OSA); 茨木市福井(児玉, 1969.11. OSA-8416); 南河内郡河南町南加納(桑島, 1936.5.17 OSA); 和泉市新家タブサ池(田代, 1935.9.24 TNS-51668); 信太山(伊藤, 1934.9.11 TKB-76836; 瀬戸, 1952.9. OSA; 小宮, 1975.9.24 NDC-2770~2775, 1978.11.2 NDC-3278, 3279); 岸和田市福田町(中島, 1950.8.23 OSA-21596)

兵庫県朝来郡朝来町八代(福岡, 1955.8.31 KYO (-1402)); 宍粟郡千種町鷹巣(内海, 1964.9.5 TNS-161972); 多紀郡今田町黒石(細見, 1967.9.29 KYO (-6090)); 西宮市甲陽園(村田, 1955.8.23 OSA (-8876), 1964.7.22 KYO (-18607)); 甲山(瀬戸, 1971.10.4 OSA-12256, 12316; 柴田, 1985.9. NDC-3607, 3608); 関学道下(瀬戸, 1971.10.4 OSA-12292); 芦屋市六甲山イモリ池(瀬戸, 1971.10.1 OSA-12582); 六甲山(栗山, 1928.8.

7 MAK; 片岡, 1947.10.23 TNS-80024); 有馬(牧野, 1902.9.12 MAK, 1931.MAK); 住吉(石川, 1938.8.24 TAI); 神戸市兵庫区シズガ池(瀬戸, 1971.10.7 OSA-11507); 多可郡中町のぎく療育園(小宮, 1995.10.15 NDC-8229); 社町畑(小宮, 1996.8.18 NDC-8487); 山田池(小宮 1995.10.14 NDC-8208); 神崎郡大河内町ダツガ峰(瀬戸, 1963.8.5 OSA (-12488)); 西脇市^{コモエ}蒲江(清水, 1959.8.12 SHIN-7452); 小野市(松島, 1918.8 TNS-37034); 三木市細川町(村田・西村, 1968.9.21 KYO (-282)); 加古川市志方大池(小宮, 1975.9.26 NDC -2785~2792); 姫路市奥池(小宮, 1975.9.25 NDC -2776~2784); 相生市ミヤ山(福岡・黒崎, 1976.8.23 OSA-24145, KYO)

中国, 岡山県勝北町日本原(高山, 1961.6.23 TNS-152568; 榎本, 1977.9.1 KURA-6758); 那岐山麓(Arimoto, 1903.8.4 SAP); 阿部山(西原, 1909.8.30 MAK-195 b); 仙養原(田代, 1931.9.6 TNS-38004); 赤磐郡山陽町(小宮, 1976.8.21 NDC-2794); 岡山市長野(二階, 1902.10.5 TI(-944), TNS-46391); 高松町鯉山(二階, 1903.8.1 TNS-46389); 日応寺(榎本, 1979.10.10 KURA-8896); 上房郡賀陽町(笠原, 1966.9.12 KURA-5773); 御津郡加茂川町上野(難波, 1979.10.6 KURA-9461)

広島県福山市赤坂長池(高藤, 1968.9.1 KYO (-614)); 世羅郡世羅町切池(内山, 1987.10.20 NDC-3808); 東広島市八本松町長沢湿原(松本, 1993.8.NDC-4742); 賀茂郡河内町用倉山(田代, 1931.10.18 KYO); 広島市佐伯区五日市佛峠(松本, 1905.9.MAK); 宮島(丹, 1909.10.KYO); 佐伯郡大野町八坂峽(宮城, 1971.9.23 RYU-11256, 11257 b) 山口県阿武郡阿東町徳佐(見明, 1970.9.5 RYU-38856); 山口市(小宮, 1960.7.20 NDC-2282); 仁保松柄峠(三宅, 1967.8.29 RYU-31653); 吉敷郡小郡町水上(二階, 1898.8.24 TI (-504), TNS-46390, 1901.8.28 TI (-855))

四国, 香川県綾歌郡国分寺町国分(三木, 1923.8.22 OSA)

高知県高岡郡佐川町(牧野, 1883.8.20 MAK, 1887.8.20 MAK, 1887.9.22 MAK-2113); 上佐町柚ノ木(牧野, 1889.8.6 MAK-2124)

愛媛県今治市桜井町(越智, 1939.8.25 TI); 松山市高浜(梅村, 1897.8.12 MAK-3282); 桑原(梅村, 1897.7.4 MAK-3283); 畑寺(奥平, 1894.6.24 TNS-53294); 南宇和郡一本松町広見大西池(小林, 1932.10.23 OSA)

九州, 福岡県粕屋郡粕屋町新長者原湿地(長野, 1891.10.19 TI(-284)); 福岡市三ツ沢(小宮, 1963.10.6 NDC-2287~2289); 八女市湯納楚(鍋島, 1920.10.24 TNS-39499, KYO) 佐賀県佐賀郡金立山(橋本, 1951.9.22 TI)

長崎県長崎市松山町(J. Kōda, 1920.9.13 TAI-2856)

大分県下毛郡三光村八面山(田代, 1921.9.21 KYO); 湯布院町小田ノ池(荒金, 1955.9.

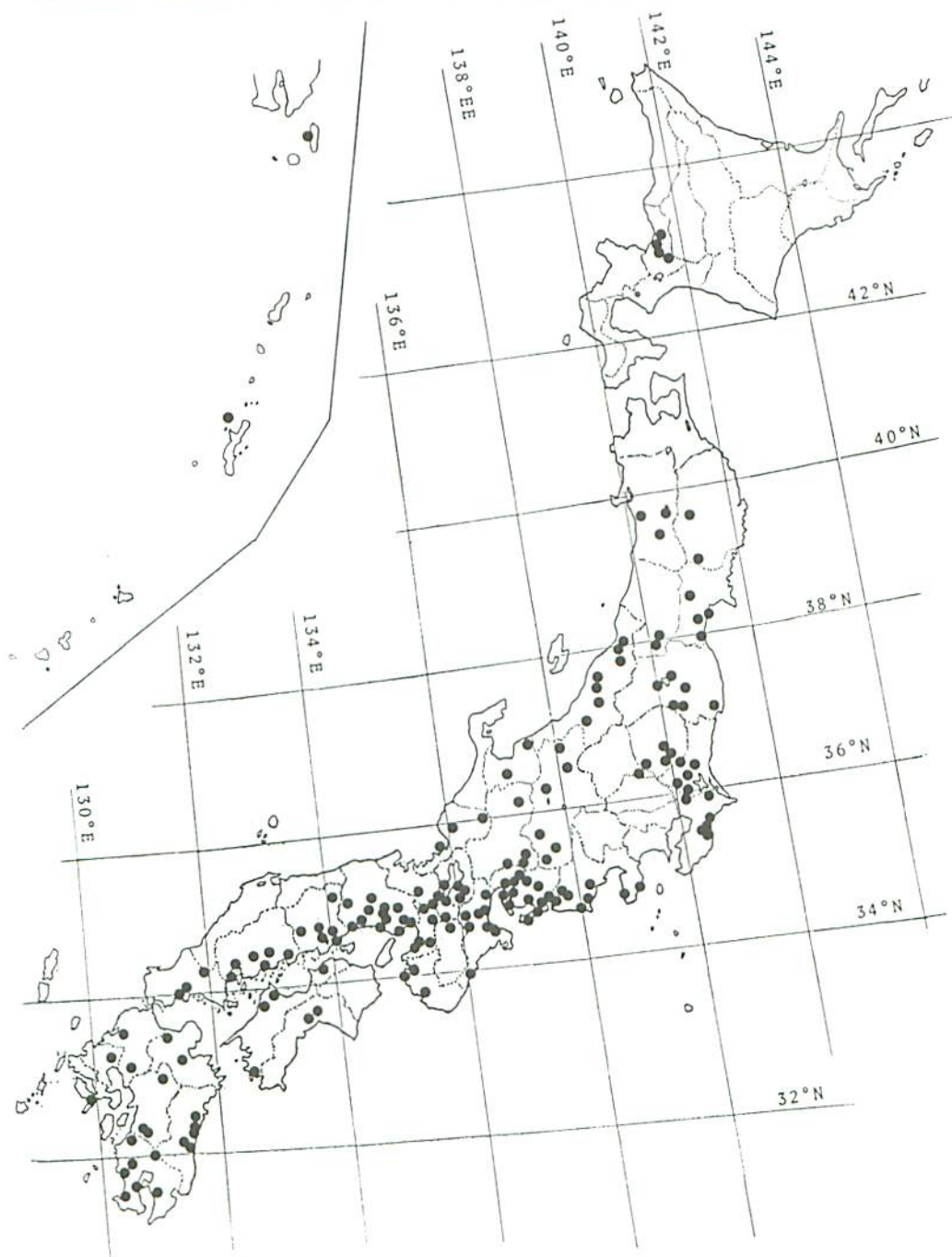
Distribution map of *Utricularia caerulea* L.

図3 ホザキノミミカキグサの分布図

25 TNS-122022；佐藤，1963.9.7 KAG-3355)

熊本県阿蘇町無田（上妻，1905.9.24 MAK (-436)）；球磨村松ヶ野（秋野，1895.8.4 MAK）；人吉市（中島，1911.10.TI）；球磨郡相良村柳瀬（田代，1912.9.14 TAI-4213；前原，1929.9.18 KYO)

宮崎県日向市（大阪府立女子専，1916.9.3 MAK (-1787)）；米の山海岸（西，1977.8.3 MIYZ-7070）；児湯郡都農町（斉田，1891.8.15 TNS-11155）；都農町蒲（平田，1955.9.18 MIYZ-7069）；川南町（長沢，1952.9.24 TNS-113176；平田，1977.9.23 MIYZ-7068）；川南湿原（金丸，1978.9.7 MIYZ-16888，1979.9.2 MIYZ-19135，19137）；新茶屋湿原（瀬野，1993.8.31 NDC-4736；小宮，1993.11.9 NDC-4754）；新茶屋堤（小宮，1993.11.9 NDC-4966）；高鍋町高鍋湿原（荒木，1978.10.23 MIYZ-16885；金丸，1979.7.15 MIYZ-20536）；新富町祇園原（金丸，1981.8.30 MIYZ-20453）；西都市平原（滝，1973.8.20 MIYZ-16246)

鹿児島県大口市西太良（初島・佐古，1960.9.4 KAG-25337，MAK-21477）；伊佐郡吉松町（初島・佐古，1960.10.4 KAG-25554；MAK-39314）；祁答院町閭牟田池（今村，1927.9.2 OSA；小宮，1993.11.10 NDC-4765）；川内市隈之城（細山田，1926.9.4 KAG-11055）；加世田市武田（中野，1913.8.20 TNS-23409）；鹿児島市吉野町（河本，1911.8.20 KAG-2543）；大口市羽月（宮内，1922.8.30 KYO）；鹿屋市花岡（田代，1916.9.11 TNS-28409，TAI-4214）；種子島馬毛島（大内山・日高，1954.5.2 TNS-117713，KAG)

琉球，沖縄県伊是名島大野山（仲田，1973.8.19 RYU-12100)

〈腊葉標本庫の略記号の解説〉

| | |
|------|-------------|
| CBM | 千葉県立中央博物館 |
| KAG | 鹿児島大学農学部 |
| KAN | 金沢大学理学部 |
| KURA | 岡山大学農業生物研究所 |
| KYO | 京都大学理学部 |
| MAK | 東京都立大学牧野標本館 |
| MIYZ | 宮崎県総合博物館 |
| NDC | 日本歯科大学生物学教室 |
| OSA | 大阪市立自然史博物館 |
| RYU | 琉球大学理学部 |
| SAP | 北海道大学農学部 |

| | |
|-------------|--------------|
| SAPT (B.G.) | 北海道大学付属植物園 |
| SHIN | 信州大学理学部 |
| TAI | 台湾大学理学部 |
| TI | 東京大学付属小石川植物園 |
| TKB | 筑波大学生物学系 |
| TNS | 国立科学博物館 |
| TOCH | 栃木県立博物館 |
| TUS | 東北大学理学部 |
| Ueno | 上野雄規 (個人所有) |

8. 引用文献

- Clarke, C. B. (1885) *Lentibulariaceae*, in J. D. Hooker, *Flora of British India*, vol. 4: 328-336
- De Candolle, A. P. & A. (1844) *Prodromus systematis naturalis regni vegetabilis*, vol. 8: 19,21
- Gamble, J. S. (1924) *Flora of Madras*, vol. 2: 982-983
- 星野好博 (1939) 美唄泥炭地に於ける植物目録, 札幌農林学会報 No. 151: 226-250
- 小宮定志 (1991) 北海道に分布するミミカキグサ類, 日本歯科大学紀要 No. 20: 58-91
- 小宮定志 (1992, 1993) 日本産食虫植物発見史(1), (2), 食虫植物研究会誌 43(4): 74-78; 44(1): 13-19
- 小宮定志 (1994) 総説ヒメミミカキグサ, 日本歯科大学紀要 No. 23: 105-123
- 小宮定志 (1995) 絶滅が危惧される日本産食虫植物, 日本歯科大学紀要 No. 24: 139-173
- Komiya, S. & C. Shibata (1980) Distribution of the *Lentibulariaceae* in Japan, *Bull. Nippon Dental Univ., Gen. Edu.* No. 9: 163-212
- 小宮定志・柴田千晶 (1999) 日本産ムシトリスミレ属, 日本歯科大学紀要 No. 28: 117-146
- 小宮定志, 他 (1997) 北海道産の食虫植物, 日本歯科大学紀要 No. 26: 153-188
- Linnaeus, C. (1753) *Species Plantarum*, 18
- 牧野富太郎 (1895) 日本植物志図篇, 1 巻 5 号: 図 29, 30
- 松村任三 (1884) 日本植物名彙, 196-197
- 松村任三 (1895) 改訂増補植物名彙, 304
- Maximowicz, C. J. (1888) *Diagnoses plantarum novarum Asiaticarum VII*, *Bull. Acad.*

- Sci. St. Petersburg. 32 : 477-629
- Oliver, D. (1859) The Indian species of *Utricularia*, J. Linn. Soc. Bot. 3 : 170-190
- 柴田千晶・小宮定志 (1985) 日本歯科大学生物学教室食虫植物腊葉標本目録, 日本歯科大学紀要 No. 14 : 169-201
- 田中桃三 (1999) 大阿原湿原のタヌキモと伊豆半島のミミカキグサ類, 食虫植物研究会誌 50 (2) : 55
- Taylor, P. (1977) Lentibulariaceae, Flora Malesiana, ser. 1, vol. 8, part 2 : 275-300
- Taylor, P. (1989) The genus *Utricularia*, HMSO
- 外山雅寛 (1984) 北海道にミミカキグサ類2種が現存, 食虫植物研究会誌 35 (2) : 45-47
- 外山雅寛 (1985) 北海道美唄市におけるミミカキグサ及びナガバノモウセンゴケの旧記録について, 食虫植物研究会誌 36 (2) : 44-45
- 外山雅寛・勝俣員伊 (1999) 北海道よりホザキノミミカキグサ, コタヌキモの新産地報告, 食虫植物研究会誌 50 (1) : 32-33
- 寄居町教育委員会 (1997) 県指定天然記念物ミミカキグサとモウセンゴケ自生地, 10